

理解しやすい公共放送に関する基礎的検討

- 知識情報が放送文理解に与える影響 -

(指導教員 世木 秀明 准教授)

世木研究室 1831138 平川 紫雄

1.はじめに

公共放送などを聴取する場合、その内容に関する知識が少しでもあると容易に理解できることが多くある。これに対して、聴取内容に関する知識が全く無い場合は理解が困難になることもよく経験する。

このような背景をもとに、本研究では、聴取する放送文内容に関する知識がある場合と無い場合ではどの程度、放送文の理解度が異なるのかについて聴取実験により検討することを目的とした。

2.聴取実験

知識情報として、同一カテゴリーの単語音声の羅列を提示した場合と別カテゴリーの単語音声の羅列を提示した場合とでは、後に提示するターゲット単語の正答率がどのように異なるのかについて聴取実験1を行い検討した。さらに、あらかじめターゲット単語を想起しやすい文章とそうでない文章を提示した場合、ターゲット単語の正答率がどのように異なるのかについて聴取実験2を行い検討した。

ここで、聴取実験に使用した単語のうち、音声単語親密度が6以上の単語を高親密度単語、5以下の単語を低親密度単語とした。

2.1 聴取実験1

単語親密度がほぼ同一の高親密度単語10個と4カテゴリー(果物、野菜、スポーツ、動物)に属する低親密度単語2個を刺激材料として選定した。

また、実験用刺激は、図1に示すように高親密度単語9個とターゲット単語として1個の低親密度単語を1組とし、これを音声合成プログラム(VoiceText)の女声により読み上げたものとした。

さらに、比較刺激としてターゲット単語を別カテゴリーの低親密度単語または、高親密度単語とした実験用刺激も用意した。ここで、ターゲット単語の位置は、10単語の後半(6番目以降)のランダムな位置に挿入することとした。

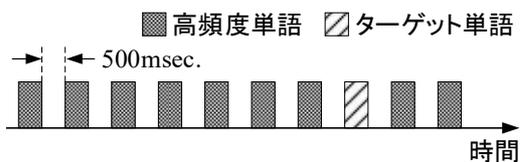


図1 聴取実験用刺激の構造

聴取実験は、実験用刺激を防音室でスピーカより至適レベル(約70dB(A))で被験者に提示し、その内容を提示順番を問わずに解答用紙に筆記で解答させた。被験者は、健康な聴力を持つ20代男女16名である。

2.2 聴取実験2

聴取実験2で使用した刺激材料を以下に示す。

[文章例]

- ・4足歩行動物はラマとヤギと猫とヤマアラシと狐です。
- ・2文字の果物は梨と桃とフキと柿と柚子です。

実験用刺激の作成方法と聴取実験の実験方法は、聴取実験1と同様である。また、被験者は健康な聴力を持つ20代男女15名である。

3.実験結果

聴取実験1で得られたターゲット単語の正答率を平均値と標準誤差を用いて図2に示す。

図2から、同一カテゴリーのターゲット単語の正答率は、別カテゴリーの高親密度単語や低親密度単語よりも有意に高くなることが観測された。

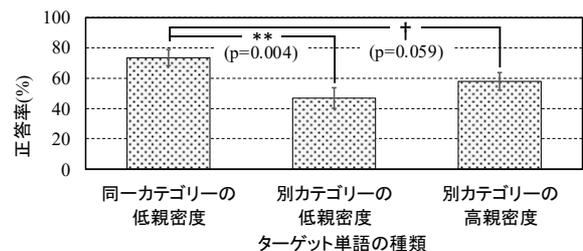


図2 聴取実験1の結果

図3に聴取実験2で得られたターゲット単語の正答率を平均値と標準誤差を用いて示す。

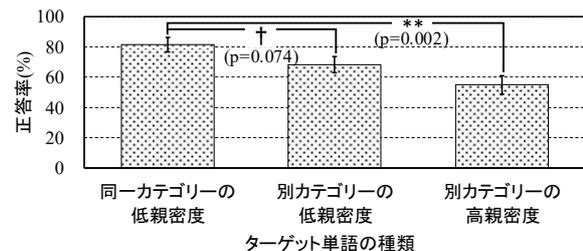


図3 聴取実験2の結果

図3から、同一カテゴリーのターゲット単語の正答率は、別カテゴリーの高親密度単語や低親密度単語よりも有意に高くなることが観測された。

4.まとめ

聴取実験1、2の結果から、知識情報を利用できる実験用刺激は、そうでない実験用刺激に比べてターゲット単語の正答率が有意に高くなることが観測された。この結果から、伝えたい内容を想起させ易い知識情報を含む放送文章の作成が重要であると考えられる。

*本研究で行った聴取実験は、千葉工業大学倫理委員会の承認を得て行われたものである。